

新・向山洋一 実物資料集

第7巻

完全収録：伝説の授業「いろは歌」
～日本の教育文化の継承～

サンプル版

ver.20210820

※本ファイルはサンプル版です、実際刊行されるものと内容・仕様等が異なる場合がありますことを予めご了承ください。

※図版等の解像度は、インターネットを通じた画面表示に最適化した低解像度のものです。
実際の印刷物は高解像度の図版を使用して印刷いたします。

新・向山洋一実物資料集 第7巻 目次

はじめに 向山洋一	1	解説コラム 14 子どもに背中を取られない板書の技術	62
解説 日本の伝統的な教育システムを授業した画期的な組み立て 谷 和樹	6	(3) なぜ「いろは歌」になったのか? ～当時の向山論文～	
1. 完全再現「いろは歌」の授業 2010年3月6日		①『向山型国語教え方教室』2009年12月号 巻頭論文(明治図書)	63
日本語技術教育学会 千葉市高浜第一小学校	7	②日本語技術教育学会編『言語技術教育19「伝統的な言語文化」を深めるための授業力とはーあなたの言語力で子どもが育つー」(明治図書)	64
(1) テープ起こしと写真で再現! 伝説の模擬授業		③『向山型国語教え方教室』2015年4月号 向山型国語に挑戦 83	
①入学直前、私が母から学んだこと	8	論文審査(明治図書)	68
解説コラム 1 母のエピソードから会場を引き込む技術	11	解説コラム 15 授業テーマは「いろは歌」以外にも候補があった	73
②最も古くから伝わってきた教材	12	2. 授業の流れが一目でわかる斬新的・革新的な学習指導案	75
解説コラム 2 考えて、考えて、考えぬかれた「授業の出だし」	15	(1) 学習指導案	76
③「いろは歌」よりも古い教材とは	16	(2) 書き込みされた学習指導案	78
解説コラム 3 深く、広い教材研究があるから、予想外の答えにも対応できる	19	(3) 授業資料	80
④生活の中にとけ込む「いろは歌」	20	(4) 教材	84
解説コラム 4 指示に正対させることを普段から積み重ねる向山氏	23	解説コラム 16 伝説的な指導案に書かれた直筆メモを追う	88
⑤初午に七千両の手を貰ひ	24	3. 「いろは歌」の授業を生み出した教材研究ノート大公開	89
解説コラム 5 これが向山型「脱線」! こんなにも知的で楽しいのか!	27	(1) 教材について	90
⑥7000両分。一文字1000両。	28	(2) 発問・指示	92
解説コラム 6 1000名以上を熱中させる組み立て	31	解説コラム 17 罫線用紙に書かれた珠玉の発問指示	95
⑦「いろは歌」を書いてみて	32	(3) 授業の見取り図	96
解説コラム 7 あんちょこを見る子役への「あたたかな対応」	35	(4) 教師としての三つの生きがいとは	98
⑧漢字に変換する	36	(5) 運動のための覚書	99
解説コラム 8 色を変えて加筆させる ～圧巻の板書の使い方～	39	(6) ユースウェアと学習指導案	100
⑨「いろは歌」の暗号を解読せよ	40	解説コラム 18 「授業の見取り図」という概念が衝撃である	102
解説コラム 9 向山実践の「学び方」を学ぶ	43	(7) 書籍のコピーに線を引く・書き込む	103
⑩五十音図の歴史を紐解く	44	解説コラム 19 向山氏は授業の教材をどの書籍から見つけたのか	105
解説コラム 10 「熱中」させる問い方	47	(8) 学習指導案の下書き	106
⑪日本語の音	48	(9) 教材に書き込まれたメモ	108
解説コラム 11 体の向きで会場全体をつかむ技術	49	(10) 授業構想メモ	109
⑫最新テクノロジー	50	解説コラム 20 直筆の学習指導案から授業の組み立てを学ぶ	112
解説コラム 12 時代を先見する授業の組み立て	51		
⑬ひゃひゅひょ・みやみゅみよ	52		
解説コラム 13 炸裂! 何年生でも盛り上がる「五十音図」の授業	55		
(2) 当日の板書写真で見る教育技術	56		

4. 「いろは歌」の授業への有名実践家たちの分析と感想 113

（1）『教育トークライン』2010 年 10 月号

①大森 修..... 114

②根本正雄..... 115

③谷 和樹..... 116

④伴 一孝..... 118

⑤松崎 力..... 119

⑥椿原正和..... 120

⑦河田孝文..... 122

⑧木村重夫..... 123

⑨神谷祐子..... 125

⑩千葉幹雄..... 126

⑪師尾喜代子..... 127

⑫杉山裕之..... 129

⑬小宮孝之..... 130

⑭雨宮 久..... 132

⑮長谷川博之..... 133

（2）開始前の SNS 発信..... 136

（3）SNS などでの発信と向山コメント

①桜木泰自のダイアリー..... 137

②根本正雄のダイアリー..... 138

③師尾喜代子のダイアリー..... 139

④伴 一孝のダイアリー（1）..... 141

⑤伴 一孝のダイアリー（2）..... 142

⑥並木孝樹のダイアリー..... 143

⑦椿原正和のダイアリー（1）..... 144

⑧椿原正和のダイアリー（2）..... 145

⑨椿原正和のダイアリー（3）..... 146

⑩谷 和樹のダイアリー..... 148

⑪溝端達也のダイアリー..... 148

⑫根本直樹の発信..... 149

⑬許 鍾萬の発信..... 159

解説コラム 21 1000 名を巻き込む向山氏の目線 161

5. 未発表テープ起こし 「いろは歌」の模擬授業 ～1997 年法則化地方合宿～ 163

（1）前日に教材を見て 164

（2）7 マスをうめる 165

（3）浮かびあがる暗号 166

（4）教材としての歴史 167

（5）黒船と鍋島藩 168

（6）日本の先人たちを教えよ 169

（7）講座資料 170

解説コラム 22 ペリー来航の授業につながる「日本人の教育力」..... 171

6. 「いろは歌」に通じる向山家の伝統的な子育て 173

（1）私の母は、普通の「おふくろ」だった。 174

（2）品川区立旗の台小学校通信簿 176

解説コラム 23 「伝説の授業」の背景となった向山家の子育て..... 178

あとがき 優れた授業の内容軸・方法軸・熱中軸を学ぶことができる 1 冊 塩谷直大 179

特典映像のご案内

下記の特設ウェブサイトにて、特典映像がご視聴いただけます（ID・パスワードは別途通知）。
<https://mukoyama.tiotoss.jp/>

日本の伝統的な教育システムを授業した 画期的な組み立て

谷 和樹

「いろは歌」の授業は、向山氏が66歳のときの日本教育技術学会での模擬授業である。会場で「衝撃のどよめき」が起きたというまさに伝説の授業だ。

その後、この授業についての出版も計画されていたが、未だ実現されていなかった。この資料は、当時の映像・資料から授業をできるだけ再現してみようとした貴重なものである。

この授業は、様々な角度から分析できる。

第一に、授業の素材である。「いろは歌」「五十音図」というのは日本で伝統的に使われ、伝えられてきた傑作中の傑作の教材である。千年前から使われてきた。教材としての価値が極めて高いのである。

第二に、授業の組み立てである。ごく粗く書けば次の3つがこの授業の骨格である。

- ①日本の学習システム
②いろは歌
③五十音図

「いろは歌」「五十音図」という一級素材の前に、①の「日本の学習システム」をもってきた。その学習システムを授業するのに「初午」の句を提示した。

初午に七千両の手を貰ひ

提示した句は素朴だが、「手習い」から始まる当時の学習システムを授業する提案としては非常に奥深い。

この組み立てを発想できる教師は、まずいないだろう。詳細は記録をご覧ください。

1. 完全再現「いろは歌」の授業 2010年3月6日 日本言語技術教育学会 千葉市高浜第一小学校



2010年3月10日
いろは歌の授業の様子

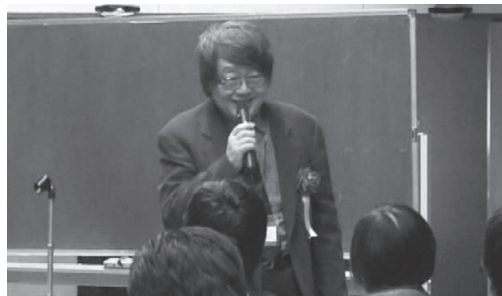
(注) 向山：向山氏の発言　——：会場の発言

①入学直前、私が母から学んだこと

向山　3人の先生で低中高をもちまして、私が低学年の教材です＊。会場の方は一緒に授業を受けてくだされば、そちらのほうが、見ているよりは理解は早いと思います。

向山　今から60年昔、昭和25年、私は旗の台小学校に入学しました。

向山　入学する直前に、私の母親は、2つのことを教えてくれました。今（当時）、全国小学校校長会の会長をしている、弟の行雄も、多分、同じだと思います。



向山　じゃあ、私が母から学んだことは、何だったでしょう。書いてみてください。2つあります。

向山　はい。

——　あいうえお。

向山　はい。

——　名前を呼ばれたら、返事をする。

向山　はい。



——　返事をする。

向山　1つはあってました。

——　名前を呼ばれたら、返事をする。

——　返事をする。

向山　これ、「返事をする」ですが、50点なんです。「返事をしなさい」以外なんです。うちの母親はもっと違ったことを教えました。違った点、そうなんです。

——　わかりません。

向山　わかりません。

——　大きな声で返事をする。

——　元気よく返事をする。



向山　大体、近いですが、「大きく返事を」でもなく、「はっきり返事をしなさい」。「向山洋一君」「はいっ！」というふうにしなさいと、それが1つです。

向山　もう1つ教えたのが。（指名する）

——　椅子を入れる。

向山　違う、違う。さっき言ったじゃん。

——　あいうえお。

向山 この授業、全体の流れからいって。

—— いろは。

向山 そうそう「いろは歌」を覚えなさい。ちなみに言ってみてください。



—— 「いろはにほへと、ちりぬるを、わかよたれそ、つねならむ、ういのおくやま、けふこえて、…（会場笑い）… あさきゆめみし、えひもせず」

向山 はい、じゃあ、会場の方もどうぞ。舞台の先生方も、お隣同士で言ってみてください。

—— （会場全体で「いろは歌」を音読する声）

向山 最後まで言えた人？ 会場も？ 手を挙げます。言えなかった人？ はい、立ちなさい。やりなさい。はい。言えたら座りなさい。

—— （会場全体で「いろは歌」を音読する声）

向山 教師としては、最低の教養です。「いろは歌」を言えるというのは。言えなくて済むなんてのは、とんでもない話です。あと1人ですよ。誰も立たせたいわけじゃないんだから。



母のエピソードから会場を引き込む技術

塩谷直大

この「いろは歌」の授業は2010年3月6日（土）千葉県高浜第一小学校で開催された日本言語技術教育学会で行われた授業である。

向山氏はステージに登壇してすぐに、低学年向けの教材を担当したことを簡潔に話した。「3人の先生で」というのは、向山洋一氏の他に野口芳宏氏、高橋俊三氏のことである。授業の順番は、1番目が野口氏、2番目が高橋氏、3番目が向山氏であった。3名の先生が30分ずつ模擬授業をしていくのだ。

野口氏は、高学年の教材として「神話（天の岩戸）」を扱った。高橋氏は、中学年として「民話（ねこまた）」を扱った。私は当日、この会場に参加していた。野口氏、高橋氏は、子役を自身の授業空間に巻き込む素晴らしい授業を行った。

向山氏は、教材担当の説明をした後、次のように会場全体に話した。この説明は15秒間である。そして、一瞬、マイクを顔から遠ざける仕草をした後に、授業に突入する。

授業の第一声は次である。

今から60年昔

「昔」というフレーズを発すると同時に、満面の笑みを浮かべている。この瞬間の笑顔が8ページ上の写真である。

向山氏は、自身の母とのエピソードを語り始める。しつとりと、まるで昨日のことを目の前の子どもたちに語りかけるように話す。

描写的な語りで、すぐに次の作業指示である。

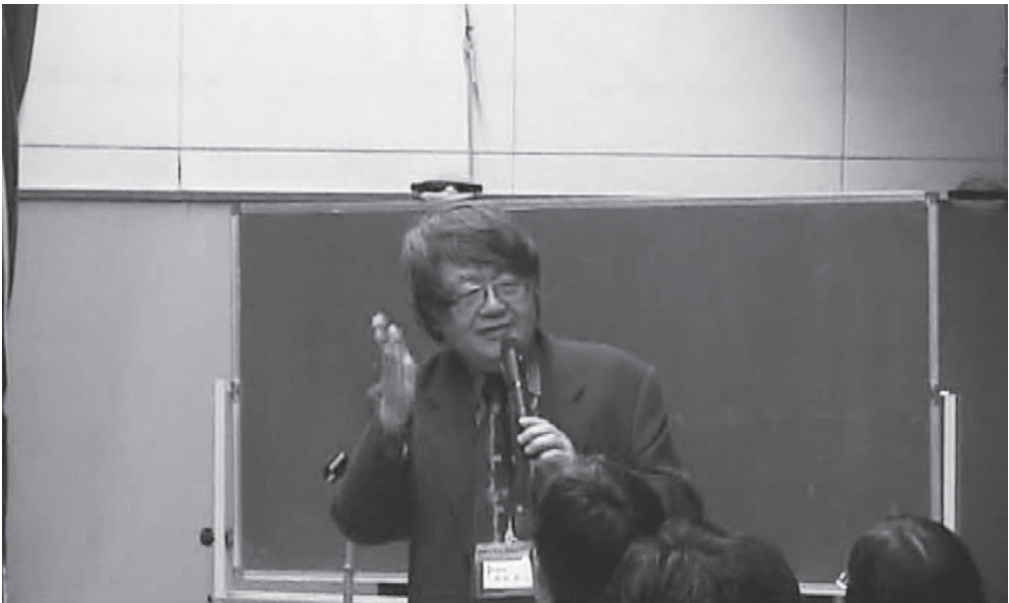
書いてみてください。2つあります。

引き込む語りから、作業指示で巻き込む圧倒的な「つかみ」だ。

②最も古くから伝わってきた教材

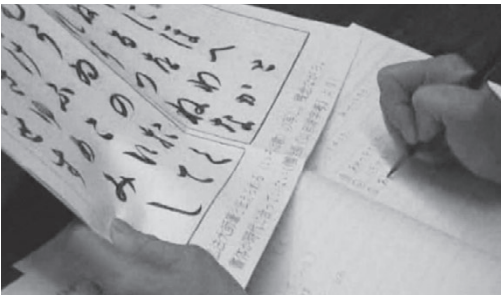
向山 「いろは歌」、古くから伝わっている教材です。教材があつて、教育が成り立つ。神話も教材です。物語も教材です。

向山 それでは、日本の歴史の中で、最も古くから伝わってきた教材を、3つ以上書きなさい。



向山 皆さんが先生になるのですよね。もう、なっちゃってる人もいますよね。こんな初歩的なことができますよね。

向山 会場の皆さんも同じです。3つ以上です。古くから伝わっている教材です。日本の伝統文化です。教育文化です。



向山 （指示から 26 秒後）
はい、1つでもいいですから。（列指名）

—— 「百人一首」。

向山 「百人一首」。

—— 「五十音図」。

向山 「五十音図」。

—— 「あめつちの歌」。

向山 「あめつちの歌」。

—— 「万葉集」。

向山 「万葉集」。

—— 「いろは歌」。

向山 「いろは歌」は、何年ぐらいだと思いますか、使って。

—— 1000 年。

向山 「五十音図」、使ってどのぐらいだと思いますか。

—— 500 年。

向山 500 年！ 簡単ですからね、五十音図。はい、五十音図。

—— 1500 年。



向山 500 年。

向山 「五十音図」、500 年ぐらいだろうと思われる人、手を挙げてごらんさない、会場の人も。

向山 明治だから、100 年ぐらいだろうと思われる人、手を挙げてください。圧倒的多数ですね。

向山 両方とも、1000 年です。1000 年です。「五十音図」も。そして、「いろは歌」も 1000 年です。

向山 そして、「あめつちの歌」は、その後。そのままに見てきましたね。でもそれは、長い間使っておりません。

長くというのは、1000 年間使われた。その次に 700 年間使われてきた教材があるんです。700 年。700 年。鎌倉から江戸時代終わりまで。

—— はい。（挙手する）

向山 はい。（指名する）

—— かけ算九九。

向山 それも結構ですが、そんなに評価されてませんね。

はい。会場の方、どうぞ。

—— 実語教。

向山 「実語教」というのと、「童子教」という。これは 700 年です。それぐらい使われてきた教材ですね。



考えて、考えて、考えぬかれた「授業の出だし」

塩谷直大

向山氏と母とのエピソードは、2つのことを子どもたちに教えている。

①「いろは歌」は、60 年以上、昔からあったこと。

「今から、60 年昔、昭和 25 年。」これが授業の第一声だ。「いろは歌」のことをよく知らない小学生ならば、「先生が子どもの頃から、あったんだ！」と授業の冒頭で考えるだろう。

②「いろは歌」は、教材であること。

幼少期の向山氏に教えるとき、母は「いろは歌」を教材として使っていた。この2つは、向山氏の次の言葉につながっていく。

「いろは歌は、古くから伝わる教材です。教材があって教育が成り立つのです。」

「いろは歌」の授業を貫く芯となるフレーズだ。

「あのエピソードが、このフレーズにつながるのか！」ものすごい授業の出だしだ。まさに向山氏の次の文章のとおりである。

音楽でも、芝居でも、映画でも、小説でも、落語でもプロは「出だし」に全精力をつぎ込む。

考えて、考えて、考えぬく。

工夫して、工夫して、工夫しぬくのだ。

教師も同じである。

授業開始の一分をどうするのか「考えて、考えて、考えぬき」「工夫して、工夫して、工夫しぬく」のである。

『教育トークライン』1995 年 5 月号（東京教育技術研究所）より

言語教育技術学会模擬授業 学習指導案

2010年9月6日(土) 30分間

中1国語科 高校レベル

授業者 向山洋一

1. 研究授業テーマ 新学習指導要領における伝統的な言語文化の
 及び指導目標 授業目標 「七音五音を中心とした文語の読みと歌謡」
 「言葉の奥行きと実用性の両方を用いる」を学ぶ
 え、日本の長い伝統を理解できる授業の可能性を
 追求する。

2 教材 いろは歌(五音図)

3 指導計画 本時: 一時間

4. 本時の指導

参 考 の 要 旨.

1. 私が小学校入学の時母から指導された二つのことは何か
2. 日本で最も長く使われてきた教材を三つ以上あげよ.
3. いろは歌以前にも(英語)の教材はあったか
4. いろは歌が実際の生活でも使われていた例を二つあげよ
- 5 次の句から当時の学習システムを述べよ.

初めに七音図の手を握る

6. いろは歌と書きなさい
7. 意味のあるように書きなさい

向山 洋一

8. 破調の一部分あります。もし直るとすれば、どうなるか

9. 漢字に直せよとすると漢字に直さない

10. 7文字ずつに書き直さない。

略号は？ 誰の？と？

~~~~~  
最古11. 五音図を見て、~~書~~今と書くとどうなるか12. 最終に7とあるのは何故に解決して江戸時代の学者の誰  
でか。13. 五音図の考案と日本での音韻学にどうなるか？ 英語は  
いつかさいと書いてあるか

14. 初め、子供、女性でやらないでか。

ひゃ. ひゃ ひゃ

ひゃ ひゃ ひゃ

向山 洋一